

鏡のウン

お話しいただいたのは
近藤 嘉人 院長

☆ある日の出来事♪

5才の男の子。今日は、はじめての歯の麻酔です。

お母さまは、男の子が診療台に横になって私や歯科衛生士とお話をしているすぐそばで、男の子の手をにぎりながら、様子を見守られています。お母さまには、今日はどういうことをするのか、治療のながれを前もってお伝えしています。

「今日は、お薬で悪いヤツを眠らせて、やつつけるね」

「うん、ママがいつた」「上手にお口が開くね。ゆっくり、少しずつお薬が効いてくるよ。あたたかくなってきたかな?」

「うん」
「もう、効いてきたね。はい、お薬終わったよ」

麻酔の違和感を和らげるため、体温と同じになるよう、麻酔薬を温めています。

「かがみは?」
「はい、どうぞ」

男の子は、待つてましたとばかりに手鏡を手にとると、手鏡の角度を変えながら、いつも以上に念入りにあちこちを見ている。そして、お母さまに向けてこう言ったのです。

「ママ、このかがみ、うそついているよ」
「どうして?」

「だって、かおがおおきくないもん!」

「?」

お母さまは、なんのことか、よくわからない様子でしたが、私と歯科衛生士は、すぐにピンとききました。そして、それがなんともおかしくて、思わず笑ってしまいました。

☆歯の麻酔

歯科治療の麻酔が効くと、歯の感覚だけでなく、歯のまわりの頬やくちびるの感覚も一時的になくなります。

温度感覚や触覚、さらに運動感覚も鈍くなり、その場所をうまく動かせなくなるので、あたたかもその場所が大きなたまりのように脳が錯覚してしまうのです。そして、それが初めてのことなら、なおさらです。

「大丈夫よ。ほら、こつちとこつちは感じが違うでしょう。お薬が効いているからそう思うだけだよ」

「そうかなあ〜」

歯科衛生士が男の子の両頬をなでてみせても、

納得していないようです。

その後も、男の子は手鏡で治療の一部始終を見ながら、ときどきは顔の横を見ながら、いろんなお話をしながら、すべての治療を終えました。

☆目的

わたしたちは、お子さまを麻酔ガスや全身麻酔で眠らせて治療するのではなく、お子さまの気持ちをくみ取り、寄り添えるように、お子さまと楽しくコミュニケーションをとりながら麻酔をすることで、安心して歯科治療につなげていきます。

「今日は、初めてのことが上手にできたね」

「うん、いいものかつてもらうって、ママとやくそくしたんだ」

確かに、がんばった後のご褒美は、大切ですね。

●情報クリップ●

新型コロナウイルスの収束が待たれるなか、わたしたちは万全の感染対策をとりながら診療しております。皆様とともに、この困難を乗り越えてまいりたいと思います。

医療法人 元気が湧く
こどもの歯科

診療科目 小児歯科・矯正歯科

診療時間 ●診療時間 9:00~18:15
●昼休み 平日12:30~14:00
土日13:00~14:30
●休診 火曜・祝日(土日診療)



H2 九州大学歯学部卒業 九州大学歯科矯正学講座入局
H8 日本矯正歯科学会認定医取得 小児歯科はまの勤務
H9 こどもの歯科に名称変更 院長に就任

福岡市南区大橋3-2-1 大橋プラザ2F
(市営 大橋駐車場をご利用ください)

☎092(551)8080

ホームページ <http://kodomonoshika.com/>

